

平易な表現工夫／イラストを多用

# 大学全入時代に新教科書

大学生に「学ぶ喜び」、教員に「教える楽しさ」を一。大学生向け教科書の新たな選択肢にしてもらおうと、山梨総合研究所理事長で拓殖大学長の渡辺利夫さん(69)＝甲府市出身＝が、平易な表現とイラストを多用した教科書「プレステップ」シリーズの監修を手掛けている。とかく「難し過ぎ

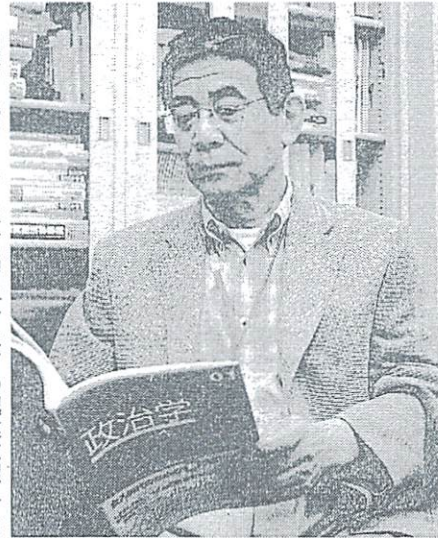
る」と言われがちな大学の教科書だが、学生の「背丈」に合わせた内容にすることで、学習意欲を引き出しやすくする狙い。第1弾の「政治学」を皮切りに30冊前後を刊行する計画で、「指導に悪戦苦闘している教員の味方にもなるはず」と渡辺学長。同大のほか、全国の大学への波及を期待している。

山梨総合研究所  
理事長  
渡辺さんが監修

学習意欲引き出す



「権力(パワー)とは「国」  
議員って何をしているの  
？」「なぜ市町村は合併する  
の？」  
プレステップの「政治学」  
は各章の冒頭、分かりやすい  
フレーズで学習内容を明示。



プレステップシリーズの「政治学」を手に取る渡辺利夫学長＝東京・拓殖大

すべての記述は「ですます調」だ。半期で完結する大学の講義に対応し計十二章で構成。各章の終盤には「この章で学んだこと」と題した要旨が付く。メモ欄もあり、渡辺学長は「ノートがなくても、これ一冊で授業が受けられる内容」と胸を張る。  
渡辺学長はこれまで、講義のためにプリントを作成し、学生に配布していたが、「プリントでは、学生が学問の全体像をイメージしにくい上、定期試験が終わると『み箱行き』になりがち」  
プレステップシリーズの第一弾となる「政治学」

(渡辺学長)。このため二〇〇六年ごろから、学生の興味を引き出しやすいテキストづくりを検討していたという。  
「政治学」は渡辺学長と同じ拓殖大の甲斐信好教授が執筆。刊行前に、自らが指導するゼミでテキストの原稿を配布し、学生の理解度を確かめながら手直しを重ねた。  
プレステップの編集作業が本格化したのは〇七年度。政治学を皮切りに、本年度中に経営学、金融学、法学など十

冊程度を刊行する予定だ。また伝統的な学問分野のほか、「文系の数学」「プレゼンテーション技術」などのテキスト化も視野に入れている。  
「何とかして学生に理解させたい」との熱意を持つ教員に執筆を依頼していく予定で、渡辺学長が全国の大学から選定する。山梨県内の大学に勤務する教員も執筆陣に加わる予定だという。  
大学の入学定員と志願者が数字の上では同数になる「大学全入時代」の到来を目前に控え、学生の学力低下を指摘する声は絶えない。渡辺学長は「全入時代の到来は、大学がエリート教育の場から、大衆教育の場へと変わったことを意味する。誰もが高等教育を受けられるという意味では喜ばしい側面もある」という。その上で「教える側にも、大衆教育の時代にふさわしい指導法が求められている。プレステップの刊行はこうした時代の変化に応じた取り組みだ」と話している。